

平成21年4月第4回臨時会（尻別地区宅地開発計画について）

平成19年度に公募により販売した尻別地区の町有地において、購入者である小樽市銭函に本社を置く株式会社トベックスより隣接する土地を合わせて開発したい旨の報告がありました。

その内容であります、喜茂別「ゆめのもりピッコロニー」と称し、今後2年以内に自生するトドマツを一部利用した住宅8戸と店舗付住宅1戸のログハウスを建設し、札幌など都市部の方々にセカンドハウスとしての利用を想定しているとのことであります。

株式会社トベックスは、道内におけるログハウス建設の先駆者であり、ここ数年、地域の活性化にも力を入れており、去年は夕張市において市営住宅のリフォームを行い話題となったところであります。

本町としては、地域経済の低迷する中において新たな事業展開の一つとして期待するところであります。

しかし、報告の際に「給水工事に関する要望書」が提出されており、水道の供給が求められております。このことについては、隣地に予定されている小樽開発建設部の除雪センターの建設計画がありますので、これらも併せて検討を進めてまいります。

その他にも実現のためには諸手続きが必要でありますので、担当する各課とも協議の上、実りある計画実施について求めてまいります。

以上、企業の事業展開ではあります、本町の活性化にも関連が出てまいりますので、ご報告をさせていただきました。よろしくご理解をいただきますようお願い申し上げます。